

平成24年度第1回日出町生活交通確保維持協議会会議録

(1) 日 時 平成24年4月12日(木) 13:55～14:35
 場 所 日出町役場 新館3階 331会議室

(2) 出席者 堀田協議会会長・・・日出町
 土井協議会副会長・・・日出町区長会
 清水委員・・・国東観光バス(株)
 伊豆委員・・・日出町タクシー協会
 漢委員(代理:赤嶺様)・・・大分県タクシー協会
 江藤委員・・・九州運輸局大分運輸支局
 財前委員・・・国東観光バス(株)杵築営業所
 天野委員・・・大分県別府土木事務所
 磯崎委員(代理:大森様)・・・杵築日出警察署
 原田委員・・・日出町
 河野委員・・・日出町
 横松委員・・・大分県東部振興局
 垣迫委員・・・日出町社会福祉協議会
 扇谷委員(欠席)・・・大分県バス協会
 事務局 越智事務局長、井川、佐藤、西原

(3) 議事要旨

平成24年度第1回日出町生活交通確保維持協議会開始(13:55)	
井川事務局長	定刻より5分早く協議会開始。開会あいさつをお願いします。
1. 開会あいさつ	
越智事務局長	会議出席へのお礼を述べ、平成24年度第1回日出町生活交通確保維持協議会の開会あいさつをする。
2. 会長あいさつ	
堀田会長	人事異動等で委員が変わった方がいるので、後で紹介したいと思う。平成23年度には7回の協議会を開催し、今年の2月にネットワーク計画の承認をもらった。そのネットワーク計画の冊子を本日皆さんにお配りしている。今年度に入って第1回目の協議会だが、昨年度の評価と今年度の予算等について審議するようになっているので、最後までよろしくお願ひしたい。 と、会長としてのあいさつ。

井川事務局員	会長のあいさつにもあったが、新しく委員になった方がいるので紹介してあいさつをいただきたいと思う。その紹介の前に、出席委員一覧の訂正をお願いしたい。下から5段目が『日出警察署』となっているが、4月1日より正式には『杵築日出警察署』となっているので、申し訳ないが訂正をお願いしたい。その杵築日出警察署の磯崎様が新たに異動で着任されたのであいさつをもらいたいと思ったが、大森様が代理で来られているので、次回磯崎様の紹介をしてあいさつをいただきたい。異動で変わられた方がもう一人いるので、紹介をしたい。日出町の福祉対策課長として、前任の合田課長より原田秀正様になった旨を告げ、ひと言あいさつをお願いする。
原田委員	4月から福祉対策課長を拝命した原田秀正と申します。よろしくお願い致します、とあいさつ。
井川事務局員	あとの委員については変更がないので、これからもよろしくお願い致します。事務局も1名異動で変わったので、紹介します。高橋が異動したので、その後任として佐藤が事務局に入っております。 (佐藤あいさつ) 次に資料として、出席委員一覧、第7回協議会の会議録、ネットワーク計画の冊子、交通マップ、事業報告書の写し、事業評価(案)、平成24年度協議会予算(案)、今後のスケジュール(案)を皆さんに配っているので確認をお願いしたいと告げた後、協議会規約第10条により、進行を会長(議長)をお願いする。
堀田会長	協議会規約第11条第2項により、議長が会議において会議録署名委員を指名する旨を説明し、日出町社会福祉協議会事務局長の垣迫弘美氏と日出町タクシー協会会長の伊豆道恵氏に第1回協議会の署名委員をお願いする。
3. 議事 (1) 経過報告について	
堀田会長	議事(1)の経過報告について、事務局に説明を求める。
井川事務局員	昨年の4月26日に第1回の協議会を開催・発足し、平成23年度中に7回の協議会を開催した。今年の2月23日に第7回の協議会を開催し、本日が今年度第1回の開催になっている。第7回の協議会以降の経過について、説明を行いたい。皆さんにお配りしているネットワーク計画について、この冊子を作成している。これについては、皆さんにご承認いただいた内容となっている。これについては調査事業ということで、株式会社地域科学研究所に業務委託を行い、この冊子を50冊、この冊子の概要版を100冊、3月30日に納品してもらった。また日出町交通マップについて、日出町モビリティ・マネジメン

	<p>ト実施業務として、こういったものを作成することについての承認を第7回協議会でいただいた。このマップについては、13,000部を3月29日に納品してもらった。これについては、本日各区長を通して各戸配布を行っている。資料の中の補助対象業務完了報告書写しについて、これを3月30日付で国に報告を行っている。内容については平成23年度の調査事業ということで、ネットワーク計画の冊子や日出町交通マップを作成しているの、その部分の事業の事務費や事業費の完了部分の報告、開催した協議会の内容などについての報告を行っている。第6回の協議会の際に委員から指摘があった会議録の件について、第7回の会議録はお手元に準備しているが、今後はホームページへ第1回から第7回の会議録を掲載したいと考えている。これについては、準備が整い次第ホームページに掲載を行いたい、と説明する。</p>
堀田会長	<p>第7回以降から本日までの経過について、事務局より説明があったことに触れ、質問、意見等がなければ、次に進む旨を告げる。</p>
<p>意見なし 「はい」という多数の声をもって承認</p>	
<p>3. 議事 (2) 事業評価 (案) について</p>	
堀田会長	<p>議事(2)の事業評価(案)について、事務局に説明を求める。</p>
西原事務局員	<p>事業評価について、平成23年度に確保維持事業を行った団体を対象として、それぞれの団体でこういった事業評価を行うようになっている。これを国に報告し、国で二次評価を行うようになっており、事業が適切に実施されたかどうかの判断をするようになっている。当協議会が平成23年度中に行った事業として、ネットワーク計画案の検討業務とモビリティ・マネジメント実施業務を行っている。調査事業の結果概要として、ネットワーク計画案の検討業務については、各種調査を行い、コミュニティバスの運行ルート等の検討を行っている。モビリティ・マネジメント実施業務については、バス路線やJR路線等を記載した交通マップの作成を行っている。その調査結果に伴い、この事業が適切に行われたかどうかの判断を当協議会の中で行う必要があるが、事務局が作成した案としては、評価を“A”としている。“A”は下に書いているとおり、事業が計画に位置付けられたとおりに適切に実施されたという内容になっている。通常、協議会が発注した際の調査業務については、コンサル会社に業務を丸投げしてしまい、事務局が全く介入しないというところもあると聞いているが、今回の調査については、事務局も積極的に調査に入っていたので、自己評価ではあるが“A”という評価にしている。今後の生活交通ネッ</p>

	<p>トワーク計画等の計画策定に向けた方針ということで、平成25年度地域内フィーダー系統確保維持費補助金の申請を予定している。平成25年度ということになっているが、国庫補助の年度が、平成24年9月30日までが平成24年度となっており、平成24年10月1日以降は平成25年度という取扱いになることから、補助の申請は平成25年度になっている。事業の内容については、新たに5地域においてコミュニティバスの運行を行うことと、スクールバスの裏で現在運行しているコミュニティバスのルートについて一部変更を行って運行をする。また、現在民間路線バスが運行している大神港方面のバス路線について、該当する事業者と協議のうえ運行ルートの見直しを行う。全ての系統について、10月1日より運行開始を予定している。この評価を承認していただければ、この内容で国に報告を行いたいと思っている、と説明する。</p>
堀田会長	<p>事業評価（案）の説明について、質問、意見等がなければ、次に進む旨を告げる。</p>
<p>意見なし 「はい」という多数の声をもって承認</p>	
<p>3. 議事 (3) 平成24年度日出町生活交通確保維持協議会歳入歳出予算（案）について</p>	
堀田会長	<p>議事（3）の平成24年度日出町生活交通確保維持協議会歳入歳出予算（案）について、事務局に説明を求める。</p>
西原事務局員	<p>歳入について、町からの負担金50,000円を予定している。補助金として、国庫補助金1,000円の予算枠を設ける形にしている。繰越金として、前年度の決算が終わってないので確定はしていないが、4,000円程度で見込んでいる。諸収入として、受取利息等の1,000円を計上しており、歳入合計で56,000円となっている。歳出について、運営費として全体で50,000円を計上している。内訳として会議費の需用費として30,000円を計上している。事務費の需用費として10,000円、役務費として10,000円を計上している。事業費の委託料として1,000円の予算枠だけ設けている。予備費として5,000円を計上している。歳出合計として56,000円となっており、歳入歳出の総計が同額となっている、と説明する。</p>
堀田会長	<p>歳入歳出予算（案）の説明について、質問、意見等がなければ、次に進む旨を告げる。</p>
<p>意見なし 「はい」という多数の声をもって承認</p>	
<p>3. 議事 (4) 今後のスケジュール（案）について</p>	
堀田会長	<p>議事（4）の今後のスケジュール（案）について、事務局に説明を求</p>

	める。
井川事務局員	<p>国庫補助金額が確定した4月下旬頃、補助金の振込があるのではないかと考えている。その後、業者への委託金の支払いを行いたいと思っている。平成23年度事業の委託金の支払いが終わると決算ができるので、監事の日出町タクシー協会の伊豆会長と東部振興局地域振興部の横松部長に決算の監査をお願いしたいと考えており、これで23年度が終了となる。その後、5月の中旬に第2回の協議会を開催したいと考えているので、その際に決算の報告ができるのではないかと考えている。その協議会での提案内容について、ネットワーク計画に基づいて10月より試行運行を行うので、役場の6月議会に提案する事項がある。そのことも含めて第2回の協議会の際に提案を行いたい。例を挙げれば、バスを運行するのでコミュニティバスの運行に関する条例の作成などを議会に提案したい。そういった内容等について、第2回の協議会で提案したいと考えている。6月にネットワーク計画書の提出を行い、7月以降で10月の試行運行に向けた準備を行いたいと考えている。運行については、バス停の話などもあるので、公安とも話をしながら、杵築日出警察署にも迷惑をかけると思うが、進めていきたいと思う。10月1日から運行を始めるという住民広報についても、十分に行う必要があると考えている。この部分についても良い方法を見つけながら住民への周知を行いたいと考えている。こういった経過を踏まえ、10月より実証運行を始めたいと考えている、と説明する。</p>
堀田会長	今後のスケジュール（案）の説明について、質問、意見を募る。
天野委員	このネットワーク計画ができたから、ほぼ終わりということの良いのか。実施に向けて動くということだけで良いのか。予算の56,000円だけで動き、それで終わるのか、と質問。
井川事務局員	補助金等を枠という形で提案を行った。今後の試行運行について、準備する必要があることがある。バス停の設置などでも費用がかかることがある。また、補助金等を受け入れることになる可能性もある、と回答。
西原事務局員	協議会として調査事業を行ってきたが、今後運行する主体は日出町等が担うことになる。協議会として提出するネットワーク計画書の中に記載される運行主体として、日出町と大神港方面を運行する民間事業者の2者が載るようになる。予算の中の国庫補助金という予算枠を設けていることについては、今後協議会として国庫補助事業を実施することがあるかもしれないということで、形式上予算を設けている。今

	後の協議会としての役割として、6月に提出するネットワーク計画書について、日出町ではなく協議会が提出する必要がある。こういった会議の中で協議が整ったので、日出町として事業を実施する、という形になっている。そのため、5月の協議会で皆さんにご審議いただきたいと考えている、と説明。
天野委員	今後は、バス停の準備等でお金が必要になり、予算枠の1,000円が増える可能性があるということか、と質問。
西原事務局員	バス停等の経費については、実証運行等の際の経費に計上されることになると思われるので、その分は協議会としての予算ではなく、日出町としての予算という形になる、と回答。
天野委員	56,000円で事業の実施ができるかどうか分からなかったので質問した、と発言。
西原事務局員	平成23年度に協議会として調査事業を実施したが、例えば平成24年度に調査事業として何か別のことを実施しても良いという許可が下りた場合、日出町としてではなく協議会として事業を行うことになるので、その場合は協議会が国庫補助金を受け入れて、コンサルに委託を出す等の形で事業を行うことになる。そこが不明確な部分ではあるので、予算枠のみの計上としている、と説明。
天野委員	今後の実証運行で問題がなければ、この協議会は終わりということになるのか、と質問。
西原事務局員	今後、いろいろと協議する内容もあると思うので、そのときは集まっていたかどうかになる、と回答。
堀田会長	私も聞きたかったことだが、この協議会を5月中旬に第2回に開催するというので、その後がスケジュールの中になかったので、協議会そのものが存続していく必要があるのかどうかを聞きたかった。10月から実証運行を行い、例えば見直しが必要という場合には、協議会で見直しを行うのか、それとも日出町独自で見直しを行うのか、と質問。
西原事務局員	ネットワーク計画自体をこの協議会の中で作成するので、その計画を変更するということは、協議会を開催して承認が必要となる。例えば、ネットワーク計画以外の部分で、料金が基本200円ということになっているが、その料金部分を変更するということになった場合、協議会の中に地域公共交通会議の機能を持たせているので、そういった場合にもこの会議を開く必要がある。今後、会議が全くなくなるというわけではなく、その状況に応じて皆さんに集まっていただく必要が生じる、と回答。

堀田会長	<p>ということは、皆さんにも理解していただきたいが、協議会が解散することはないという可能性の方が大ということだろう。例えば運賃を200円にしているが、日本全国を見ればこういう形の運行で運賃を100円にしているところもある。過疎地に行けば、完全無料にしているところや子どもを無料にしているところもある。今後、全国の自治体と見比べたときにどういった形になるか分からないが、料金の改定等を行う場合には協議会で審議する必要があると考えている。また、運行の見直しについて、道路拡幅等を行っているが、道路の新設等道路網の改善を実施している。そういったことが実施されれば、運行ルート等の変更もあると思うので、この協議会を開催して審議をする必要があると考えている。そういったところをご承知おき願いたい、と発言。</p> <p>他に、質問、意見を募る。</p>
横松委員	<p>10月以降、試験運行という形になっているが、アンケート調査等利用者の声なども含めて効果の検証等を行うのか、と質問。</p>
越智事務局長	<p>はい、と回答。</p>
横松委員	<p>そういったものの報告は、この協議会の中で行うのか、と質問。</p>
越智事務局長	<p>そういったことについては、協議会を開催して報告を行いたい。見直しということも含めて、協議会でお諮りしたい、と回答。</p>
江藤委員	<p>素晴らしい計画ができており、10月に向けて準備を進めていくと思うが、具体的な運行の形態などはどう考えているか。また、それについて協議会で報告等を行うのか。それと、日本全国でこういったコミュニティバスを運行しているところが多数あり、広報が非常に重要になってくると思っている。その広報について、皆さんに知ってもらうという広報と、目立つような運行をするという広報があると思う。九州ではないが、バス車両を今風のものに変えた途端、乗車人員が2割3割増えたという事例もある。導入する車両にしても、車両のペイントにしても重要になってくると考えている。そういった点について、具体的な考えがあれば教えてほしい、と質問。</p>
越智事務局長	<p>運行方法について、ワゴン車の購入を行う方向で検討している。運行形態について、現時点ではっきりとは決まっていないが、現行のコミュニティバスのような形が良いのか、違う形が良いのかを検討している。おそらく、委託という形になるのではないかと考えている。広報については、広報ひじや回覧等で周知したいと考えている。また、交通マップを全世帯に配布したが、議会の中でこのマップではお年寄りにわかりづらいという声もあった。各地区から中心部に向かう分か</p>

	<p>りやすいマップや時刻表を作成してもらえると良いのではないかと、という意見もあったので、その辺も含めて検討する必要があると考えている。車両のラッピングについて、見た目で分かりやすい形ということも考えられるので、その点も含めて検討したい。公共交通については、利用者増を図る必要があるため、そういった取り組みについての検討を行いたい。詳細については、5月の第2回協議会開催の際に、6月の議会に向けて決まったことを報告したい、と回答。</p>
堀田会長	他に、質問、意見を募る。
赤嶺委員代理	<p>運行形態が決まってないということだが、バスもタクシーも運輸支局への各種届出が必要となり、手続きに数か月かかることもある。10月にするのであれば、2ヶ月前の申請であるとか、協議会の審議を経て行うこともあるので、そういったことを頭の片隅に入れて準備をしてほしい、と発言。</p>
越智事務局長	はい、と回答。
堀田会長	今後のスケジュール（案）について、質問、意見等がなければ、次に進む旨を告げる。
意見なし 「はい」という多数の声をもって承認	
3. 議事 (5) その他について	
堀田会長	議事(5)のその他について、何かあるか事務局に確認。
井川事務局員	ありません、と回答
堀田会長	事務局からその他はないということなので、全体を通して質問、意見を募る。
横松委員	交通マップは、ホームページで公開するのか、と質問。
西原事務局員	会議録をホームページにアップする際に、交通マップとネットワーク計画の冊子も合わせてアップしたいと考えている、と回答。
横松委員	分かりやすく使ってもらうためには、ホームページの一番上などに公開した方が良いと思う、と発言。
西原事務局員	そのように検討したい、と回答。
堀田会長	このマップには、10月からの運行とは記載していないのか、と質問。
井川事務局員	これは現行のバス路線等のマップになっており、新規のコミュニティバスは掲載していない、と回答。
越智事務局長	新規のコミュニティバス路線については、分かりやすいマップを作成してほしいという要望が議会からあったので、その辺も検討してほしい、と回答。
堀田会長	他に、質問、意見がなければ、これで議事を終わると告げる。
意見なし	

堀田会長	全ての議事について終わることを告げ、委員にお礼を述べる。
井川事務局員	議長にお礼を述べ、日程を進める。
4. 閉会あいさつ	
越智事務局長	委員にお礼を述べた後、10月からの実証運行に向けての諸準備に尽力するので協力をお願いしたいと述べ、平成24年度第1回日出町生活交通確保維持協議会の閉会あいさつをする。
平成24年度第1回日出町生活交通確保維持協議会終了（14：35）	

平成24年度第1回日出町生活交通確保維持協議会の概要を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名、捺印する。

平成 年 月 日

平成24年度第1回日出町生活交通確保維持協議会

会議録署名委員

㊟

会議録署名委員

㊟